

岡山県工業技術センターの研究開発成果について
(弱酸性次亜塩素酸水溶液の噴霧技術)

岡山県工業技術センターでは、食品・医療分野における新規洗浄・殺菌技術の開発について企業と共同で取り組んでおります。このたびその研究成果が、弱酸性次亜塩素酸水溶液噴霧装置の共同開発に至りました。

1 研究成果の内容

①技術概要

近年、食中毒の防止、鳥インフルエンザの感染防止、病院内での感染予防、その他室内空間の脱臭などの社会的ニーズにより、殺菌・防臭機能を有する噴霧装置の需要が高まっています。工業技術センターは、弱酸性次亜塩素酸水溶液の噴霧粒子が殺菌効果ならびに消臭効果を有することを実証し、この知見を基に耐塩素部品を用いた新たな噴霧装置（商品名「エリアクリン」）を、株式会社シージーアイと共同開発しました。

②特長・効果

- ・弱酸性次亜塩素酸の噴霧粒子により、空中浮遊微生物の殺菌と悪臭成分の消臭に有効であることを実証。
- ・耐塩素部品の使用により、弱酸性次亜塩素酸水溶液の微細粒子を安定的に霧状化。
- ・旋回式およびポータブル式の2機種の噴霧装置を製品化。

2 成果の展開

共同研究企業の(株)シージーアイにおいて、旋回式噴霧装置を平成20年4月から出荷を開始し、これまでに20台を販売しました。ポータブル式噴霧装置は、平成21年1月から販売を予定しています。今後、食品製造、医療関連、畜産関連施設等へ、両機種合わせて年間700台の出荷を目指しています。

